



vol.229
Oct.2023

特集

殴り込み世界

小ネタ

風俗体験記

古典語実態調査

2S スポ身 他多数

その他
多数

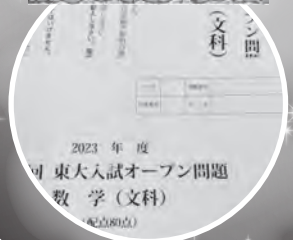
殴り込み
福島海



殴り込み
中国



殴り込み
東大模試



殴り込み
外山合宿



2023年度
東大入試オープン問題
数学(文科)
42点80点

この素晴らしい世界に殴り込み!



KOKASHA
Vol. 229
CONTENTS



デザイン
表紙【あかさたな】
目次【社だぶ手っど】
巻頭言【森の夜】
編集後記【恥曝し】
裏表紙【うんこうん太郎】

殴り込み
世界

特集 殴り込み世界 P02

風俗 風俗体験記 P53

VS デッドボール P63

風俗の後で P67

小ネタ 号外 駒場ミシユラン P70

古典語実態調査 P71

2S スポ身体験記 P74

連載 ブラ社守 番外編 P82



福島の海

文責【書き人知らず】

8月24日、日本政府はついにALPS処理水の海洋放出を開始したと発表した。12年前の福島第一原子力発電所での事故で発生した放射能汚染水をIAEAの規制基準未達まで希釈したもので、どうやら放出しても特段問題はないらしい。私は怠惰な文科生なので専門外の理系分野にとやかく口を出す気はないが、放出される放射性物質の総量が非公開だったり、風評被害への懸念などから、国民の間でも意見が割れる事態となっている。

政府としても、「これは処理水で安全だ」というスタンスで行くのかと思われるのも束の間、現職の農林水産大臣が「汚染水」と呼んで大騒ぎになるなど混乱が絶えない。個人的には別にきつたねえ水であることは確かなんだし、その上で安全ならそんな言葉のあやで遊んでないでさっさと流せばいいと思うのだが、表現に拘ってグチャグチャ揉めるところがなんとも日本らしい。何はともあれ、本当に安全かどうか知りたいのなら、実際に自分の身で確かめてくればいいと思ったのだった。また、今回の処理水放出の決定に対して、中国が対抗措置として日本からの水産物の全面禁輸を決めた。これはちょうど2週間後に中国行きを控えた筆者にとってまたとない機会であったから、社内の「誰か福島行ってこいや」との雑な呼び声に二つ返事で応じて急遽福島行きを決めた。

訪問日は9月4日、駒場トリアスロン（11月号掲載予定）終わりのその足でまず日立まで乗り込み、翌早朝に福島へアタックを行った。

訪れたのは福島県はいわき市にある勿来海水浴場。JR勿来駅から国道6号沿いをひたすら歩いて20分強とアクセスも悪くない。ただ海水浴場と言っても訪問時にはとくに海水浴シーズンは終了して久しかったから、完全自己責任での遊泳である。代わりに広い海を独占できるとワクワクした。また一応クラーゲ対策で上半身はラッシュガードを着用させていただいた。前回号に引き続き私の裸に期待してくださった読者諸君には申し訳ないが、健康第一は譲れない上での決断だ。



▶(上)地名からして「来る勿れ」。いや、別に俺も雨の中わざわざこんなところ来たくない。(下)大荒れの勿来海岸。さすがに誰もいなかった。

ただここで一つ大きな誤算があった。天気が悪く早起きしたのに空が真っ白なままだった時点で嫌な予感でしたが、常磐線で北上するにつれその予感は確信へと変わった。傘を差してなんとか海岸に着くやいなや、土砂降りの雨と強烈な海風にやられてしまいなかなか入水の覚悟がつかない。なんとか傘を砂浜に埋め込んでテント代わりとし、着替えて覚悟を決め、大海へと飛び込んだ。

とにかく流されずに、生きて帰れるよう必死だったから、冷たい以外の感想はよく覚えていない。大波に抗いながら「汚染水！」とか色々叫んでみたが、当然誰もいないので何とも空しかったことは記憶に残っている。こんな田舎でもデカい国道沿いだから車両だけは無駄に頻繁に走っており、運転手たちがこんな季節外れの遊泳客を見て一体何を思ったのかはちょっと気になる。筆者と



▲遊泳前の【書き人知らず】。大雨の中で入水の覚悟を決め、闘う面持ちをしている。

しては、せめて記事にできるような最低限の撮れ高を得ようと試行錯誤したが、浜辺に波が押し寄せる中、呑気にスマホを構えることもできず、結果、遠くから水遊びをしているような写真しか撮れなかった。二枚、仮設テントに設置したカメラで撮影されたものを貼っておくから、海岸のなんとなくの雰囲気をつかんでくれれば幸いである。まあ結局、他の海水浴場と何ら変わりはない。



▲遊泳というより水遊び。



▲波際に打ち上げられた日本の海鮮。

訪問の最後に、記念として「福島の海水」を持ち帰ることにした。せっかく帰りの服に着替えたのに再び大波に襲われ、ズボンを潮まみれにした

が何となく2Lほど汲むことができた。興味本位で恐る恐る一口飲んでみたが、ただ単にしょっぱいだけであり、別にゴジラとキスしたやよいではないから放射能の味も分ならず、少し残念だった。



▲福島の水。採ったはいいけど扱いに困っている。

そんなわけで晴れて筆者は「日本産魚介類」の仲間入りを果たした。こんな私を中国の税関は入国させてくれるのだろうか？ その結果は次の記事『殴り込み中国』を期待されたい。

ちなみにその後体調の方はと言えば、特に問題なく過ごせている。まあ当たり前だが、福島の海だからってそこまで恐れる必要は何もないという話だ。心配するのは分かるが、海水が黒くなつたのだといった話は人々の不安を煽るためのデマである。もちろん長期的なリスクが不明な部分もあるが、さしあたり健康被害というのは考えにくい。人生は短いだし、遠い未来のことを気にするくらいだったら、人も少なく広くて綺麗な福島の海、是非積極的に訪れてみてはいかがだろうか？



文責【猫跨ぎ】

フランスデモ

ごきげんよう、皆さん。時代錯誤社パリ特派員の【猫跨ぎ】です。

9月23日(土)、バカンスが終わり人々が仕事や学業に帰ってくる中、今学期初の大型デモの呼びかけがあった。デモの呼びかけは2つ。14時から北駅集合のデモは今年6月に警官が黒人の17歳の少年を殺害したことに關して「警察による暴力」「構造的人種差別反対」「民衆の自由」の3つを訴えたもので、Marche Unitaireなる組織が各団体に呼びかけて発足したものである。もう一つはイエローベスト運動による呼びかけで、18時にパンテオン広場出発、電気代高騰など各種インフレへの反対を掲げたものである。どちらも暴徒化したことのあるデモだ。

というわけで、幸い14時と18時にデモが分かれているのでハシゴして見てくることにした。

まずは北駅。この界限は移民の多い地帯で一般的に治安が悪いとされている。シャルリー・エブド事件の際にFox Newsにno-go zoneというレッテルを貼られてからはこの界限の言われようは酷いそう、日本語で「グットドール街」と調べると実際スラムだのなんだのと出てくる。しかし、パリにそんなスラムなんぞあるわけがない。ソウルの九龍村みたいなのを想像していると肩透かしをくらうことになる。実際、グットドールの繁華

街はアフリカの料理や服がたくさん売られているので「リトルアフリカ」などと呼ばれてパリ市民の観光場所にもなっている。まあ、東大生には世の誤解を間に受けてほしくないもので、デモに先立って12時くらいに到着し、こちら辺をまずは少し散歩して少しだけレポートしておこうと思う。



▲一番線の高架下、延々とマルシェは続く。

さて、土曜日なので巨大マルシェがやっていた。マンゴーが1ユーロ、巨大ナス3本で2・2ユーロなどパリにしてはクソ安い値段で色々なものが売られていた。昼だったので、屋台でピザでも食べようと思ったが、せっかくなのでアフリカの何かを食べようと思い、ピザのように積まれていた円形の薄い食べ物を買ってみた。何かと聞いたら「ケセン」と言って2・50ユーロした。まあこれで一食済むなら安いものである。

殴り込み 世界



▲大したものではないのだが、こうして見るとまた食べたくなる謎の中毒性。

と思ったのだが、圧倒的胃もたれ。半分しか食べられなかった。どうやらこのケセンには尋常じゃない量の油が使われていたようだ。その証拠にケセンを包んでいたナプキンがすでに飽和量まで油を吸い込んでいた。残りは夕飯に食べることにして、私は適当な公園のベンチに腰掛け、胃を落ち着かせた。

さてこのレオン公園もグットドールの只中にあるのだが、遊具がたくさんで子供が遊んでいて平和な場所である。



▲麻薬の取引はよく行われているらしい。

全く平和なまま、時刻は13時を迎え、私はデモの集合場所である北駅に向かった。デモ参加者は集合を始めていたが、まだ少ない。それに対して警察の用意は周到であった。

人が集まり始めたのは13時30分ごろ。各団体のトラックが初期位置にスタンバイし、その周りに人だかりができていく。ピンク色の腕章をしたプレスやピラを配る広報要員などがまず来て、それ



▲フランスでは都市圏はこの police national 国家警察が管轄している。

から一般の参加者が増え始めるという感じであった。よく見るプラカードは自分で持ってくる人もいたが、多くはトラックに積まれていて、そこから配られる感じだった。私はプラカードはいらないのでステッカーだけ貰い服につけた。このデモの呼びかけ団体は Marche Unitaire だが、単独のデモではなく多くの左翼団体が集まっている。社会正義系の団体としては poing levé, Attac France, Droits devant など、労働者同盟の CGT, CNT, UNOF など、環境系の団体の ALTERNATIBA, Dernière Révolution, そして反資本主義系の党 NPA (反資本主義新党) とジャン・リュック・メラシヨンの不服従のフランスなどの政党も含め無数の団体が集まっているのだ。賛同の署名をした団体の数は全国で150を超えるらしい。行進開始予定時刻である14時にはほぼ全員集結し、14時30分に行進は始まった。



▲ 14 時 30 分時点の同じ場所。



▲ 13 時 30 分時点の北駅前。

私はまず先頭集団に入った。先頭の団体のトラックで有名ならしい人物が交代交代で演説し、最後に CDOR の Mornia Labssi という女性が pas de justice, pas de paix (no justice, no peace) という掛け声を大衆と叫び始めると、トラックが進み始め、いよいよ行進が始まった。私はその地点にとどまり、各団体が横断幕を広げて通り過ぎていく様を観察した。それぞれ掛け声が異なり、訴えていることもさまざまで、中には黒人の団体もあったが、今回の警察の暴力に対するデモとしては最も彼らが切実であろう。



▲反天連の天皇人形みたいなものもあった。

2 台目のトラックは「不服従のフランス」、3 台目のトラックは ANA のものだった。やはり政党にもなると資金があるのだろう。どちらも 4 人がトラックについて、2 人ずつ交代で呼びかけをしていた。



▲後ろの DJ の音に合わせて掛け声をする。

どこの団体にも共通する掛け声があったので、いくつか紹介する。まず 'police partout, justice nul part (police everywhere, justice nowhere)' というのがあって、これは、ヴィクトル・ユゴーが自分の演説ノートに書いた言葉で、五月革命以来お馴染みのフレーズとなっている。反警察としては他にも、'Tout le monde deteste la police (Everyone detest the police)', 'Police nationale, milice du capitale (National police, army of the capital)'、などがよく聞かれた。また、CGT と不服従のフランスがよく歌っていた歌があって、その歌詞が私のメモによると 'On est là. On est là. Même si Macron ne le veut pas, on est là. Pour l'honneur des travailleurs et pour un monde meilleur, même si Macron



アルメニア 文責【意識低い系】

Barev dzezi 【意識低い系】です。本記事では筆者の体験したアルメニア研修の思い出を徒に書き散らしていきます。まず首都イェレヴァンの気温ですが……

と、道中筆者は能天気な調子で記事を書き始めていたが、現在アルメニアはこのんびりした調子で語れる国ではなくなりました。

読者の多くもご存じの如く、さる9月18〜19日、アルメニアの隣国アゼルバイジャンは領内の係争地ナゴルノ・カラバフをめぐる、アルメニアに対し軍事侵攻を行い、ナゴルノ・カラバフ（「アルツァフ共和国」の非武装化に持ち込んだ後アルメニアとの交渉を開始した。幸いにして戦争は短時日のうちに終わったものの、アルツァフを失った国民による首都での首相退陣デモ行動は続き、ナゴルノ・カラバフ地域ではアルメニア人避難民の前に困難が続いている。対口関係、対中東関係も含めアルメニア情勢は依然状況が読めず、手放しに渡航を勧められる国ではなくなりました。これは筆者が入試直前にロシアに味わった挫折を思い起こさせる、苦い経験だ。

しかしだからと言って、この記事の必要性は衰えないはずだ。それどころか、今後一層注目すべき国の旅行記となれば一層その重要性は増すだろう。重責を感じつつ、できるだけありのままを伝

えたいと思う。筆者は「アルメニアでロシア語を学ぶ日本人学部生」という立場ゆえ、いささかアルメニアやロシア側に偏った情報のみを書いてしまう可能性はあるが（もちろん可能な限り客観的な記述を心がけるが）、ぜひこの記事をきっかけに、アルメニア、ひいてはコーカサスに対する読者の興味と理解が一層強く深いものとなることを期待したい。

この記事がいずれ訪れる平穏な日々と、アルメニアを夢見る東大生の一助になることを願って、筆を執ることにする。

0 アルメニアってどんな？

筆者が社員や家族、高校同期などに「アルメニアに行く」と伝えた時、決まって第一声がこれであった。次に「アルバニアだっけ？」と聞き返される。それほどに日本におけるアルメニアの知名度は低い。そこで、まず筆者の渡航の詳細と共に、アルメニアについて数言基本情報を述べておくことにする。

筆者は現在教養学部2年生で、1Aの途中からロシア語のTLPクラスに属している。TLPでは多くの場合2年次で短期間の語学留学を行うのだが、知っての通り現在ロシアに行ける状況ではない。そこでロシア語の通じる地域を探した結

果、白羽の矢が立ったのがここアルメニアという訳だ。

アルメニアの場所を説明するのは難しい。ヨーロッパに属するともいえるし、アジアの国だともいえる。「南コーカサスの内陸国で、トルコとアゼルバイジャンに挟まれてて……」などといったも皆目を丸くするばかりだ。地理に明るくない人は「ロシアの左下あたりの海に挟まれてる辺り」とイメージしてくればよい。

さらに詳しく言うと、アルメニアはコーカサス山脈の南、黒海とカスピ海に挟まれた「ザカフカース」(ロシア語で「コーカサスの向こう」という意味)地方に属する。北をジョージア、南をイラン、西をトルコ、そして東をアゼルバイジャンと接する内陸国で、緯度は日本の秋田県と同程度。国土の大半が山岳地帯のため気温は日本に比べて冷涼で、滞在中の平均気温は25℃程度、まず30℃を超えることはなかった。

3000メートル級の山がゴロゴロあり、最高峰のアラガツ山の標高は4095メートル。最大の湖セヴァン湖(面積は琵琶湖の2倍くらい)のそばには古い修道院が存在する。

アルメニア人が自国について語るとき、決まって引き合いに出すのが「世界最古のキリスト教国」という歴史である。伝承によると301年、当時

の国王アルシャクニ朝トウルダト(テイリダテス)3世に洗礼を授けたグリゴル・ルサノヴィチ(啓蒙者聖グリゴル)によってアルメニア教会が創始されたらしい。これはミラノ勅令よりも前のことだ。したがって伝承に従えば、「世界最古のキリスト教国」というのは強ち間違いではない(厳密に史実ではないが)。

ちなみに、アルメニア教会はカトリックでもプロテスタントでも正教会でもない「非カルケドン派」教会で、エチオピア教会やコプト教会などの仲間だ。とはいえ三位一体説に対しての態度は二面的であり、かつ宗教的アイデンティティがナシヨナリズムと結びついているため、一概に言い難い面がある。クリスマスはロシアと同じく1月



▲コーカサス地方の地図。黒色がアルメニア、白丸は首都のイエレヴァン。内陸国である。

7日だが、アルメニアの人々によればイエスの洗礼により「神の子」誕生が知らされた日付に基づいていることから現地人は「本当のクリスマス」と冗談めかして語ることもあるようだ(信憑性に疑問アリ)。よく分からない人は近所の教会に行つて聖書のお話を聞いてほしい。

アルメニア人で最も有名な人物は何といつても高名な『剣の舞』(Tanc o Sabirani)のアラム・ハチャトゥリアンだろう。ちなみに苗字の「ハヤン」「ミコヤンなど」は英語圏で言う「ソーン」、ロシア語圏で言う「ソヴィチ」と同じく「ソの息子」という意味だ。

言語は印欧語族アルメニア語派のアルメニア語。文字は5世紀にメスロプ・マシュトツにより



▲イエレヴァン近郊のサグモサヴァンク修道院。13世紀のアルメニア使徒教会の名残を今に伝えている。なんと結婚式が開かれていた。

クロスワード

文系の学生に媚を売る、あの企画が帰ってきた！

Vol.229



前回の正解者：0人

1		2	3	4		5	6	7		8
		9				10				
11	12			13	14			15	16	
17			18				19		20	
21		22					23	24		
		25				26				
27	28				29		30		31	
32			33	34		35			36	
37		38		39				40		
		41	42			43	44			
45										

白マス 100 個、全て埋めたら時代錯誤社まで！

《タテのカギ》

- 1 ミズーリ協定を否定したアメリカの法術様式
- 2 バロックの次の美術様式
- 3 暴君の代名詞
- 4 地球に降ってくる燕が巣を作る

- 6 矛に対して
- 7 部活を辞めること
- 8 イギリスの朝食で食べられる丸いパン
- 12 受け入れが議論に力で押さえつける
- 14 侵略戦争中の国
- 16 男女共謀の恐喝
- 18 読み書き能力

- 22 フィリピンの首都
- 24 首都はテヘラン
- 28 茶色と黄色の菓子
- 29 右肩の数字が表す
- 31 磁力が働く空間
- 34 曲を繋げて演奏
- 35 ストップウォッチ
- 38 冪^{べき}や力を英語で
- 40 お前という意味

《ヨコのカギ》

- 1 マケドニアがギリシャに勝った戦い
- 9 二つの点が上下に並んだ記号
- 10 サンリオのキャラ
- 11 あるか店に確認
- 13 動いていないこと
- 15 自分の考えを公開するサイト
- 17 筆につけて使う
- 18 「そこをまっすぐ行って、——を左に」
- 20 Apple の音声アシスタント
- 21 大掃除をする時期
- 23 圧力が変化しない
- 25 運んだり送ったり
- 26 氷に柱と書く
- 27 河口は三角江。南米を流れる「銀の川」

- 30 貝が作る宝石
- 32 人混みでの窃盗
- 33 東大ではSとAに分かれている
- 36 死神が持つ武器
- 37 見破ること
- 39 相手に賛成する
- 40 バターを塗るのに使う
- 41 暇乞いをする
- 43 「My, me, ——」
- 45 ニクソン元大統領を辞任に追い込んだ事件

授業中の暇つぶしにどうぞ。社室のある学生会館105Aに持つてきていただければ、正解した先着99名様に景品を差し上げます。10月号への感想や不満もお待ちしております。また買っつね。